

令和九年度採用

山梨県公立学校教員選考検査

中学校（国語）

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 一 この問題は三問五ページで、時間は六十分です。
- 二 解答用紙は、別紙で配布します。「始め」の合図で始めてください。
- 三 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 四 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 五 解答用紙を持ち出してはいけません。

中学校国語

次の文章を読んで、一～七の問いに答えよ。

一

著作者の権利保護のため
掲載を省略します

平野啓一郎『文学は何の役に立つのか?』より(作問の関係上、一部表記等を改めた。)

一 「^a黎明」、^d「綴られる」の読み方をひらがなで記せ。

二 「^bシユウトウ」、^c「ホソソウ」を漢字に直して記せ。(楷書で正確に書くこと)

三 「^①『舞姫』ほどよく悪口を言われる」とあるが、その理由として、最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

ア、『舞姫』は物語の展開が単調で、心理描写も乏しく、読者の興味を引きにくいから。

イ、太田豊太郎の行動が現代の読者にとって理解しがたく、感情的な反発を招くから。

ウ、森鷗外が女性蔑視的な思想をもっていたため、現代の読者に批判されているから。

エ、『舞姫』は、文学的価値が比較的低く、近代文学として評価が定まっていないから。

四 「^②太田が、官僚としての立身出世を^{、、、}選んで、エリスを捨てた、^{、、、}というのはほとんど誤読である」とあるが、その理由を文中の言葉を使って、四十字以上四十五字以内で記せ。

五 筆者は『舞姫』のタイトルに込められた意味についてどのように述べているか、最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

ア、『舞姫』というタイトルは、物語の舞台であり、自身が留学したドイツの文化に対する憧れを表しており、鷗外の西洋志向を反映している。

イ、『舞姫』というタイトルは、近代国家の発展を象徴するものであり、太田の官僚的成功を肯定的に描こうとする意図が込められている。

ウ、『舞姫』というタイトルは、主人公・太田豊太郎の芸術的感性を象徴しており、彼の内面にある美しさを表現するために選ばれている。

エ、『舞姫』というタイトルは、エリスの悲劇に読者の感情を集中させるために選ばれており、彼女の犠牲を通して問題を提起している。

六 筆者は鷗外の作品に共通する人生観について、どのように述べているか、「自分の力」、「優しさ」という言葉を使って五十五字以上六十字以内で記せ。

七 あなたが、文学作品を授業で指導する際、生徒の資質・能力を育成するため、どのような言語活動を設定し、どのようなことに留意するか。具体的な学年を設定し、学習指導要領を踏まえ、九十字以上百二十字以内で具体的に記せ。

二

次の文章を読んで、一～六の問いに答えよ。

著作者の権利保護のため
掲載を省略します

著作者の権利保護のため
掲載を省略します

驚田清一『透明』になんかされるものか』より

一 「アイデンティティ」とあるが、筆者はどのように定義しているか、四十以上五十以内で記せ。

二 「語りの真実性は語りの内部では決しえない」とあるが、その理由を、四十五以上五十以内で記せ。

三 「わかりやすさの落とし穴」とあるが、筆者はSDGsの事例を取り上げて、どのような問題があると述べているか、五十以上五十五以内で説明せよ。

四 「ジグザグをいくつも経験する」とあるが、どのようなことか、最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で記せ。

ア、わかりやすさの落とし穴を避けるため、流通する言説に同一化せず、説話を疑いながら一直線に判断へ向かう姿勢。

イ、時間をかけて考え続ける姿勢を避け、滑りのよい言葉によって、複雑な事象を簡潔な物語へまとめ上げる態度。

ウ、結論を急がず、ああでもないこうでもないと考えつづけ、問題を解くために当てる補助線を増やす理解の進み方。

エ、自分に語って聞かせるストーリーの整合性を重視し、辻褄が合う説話を維持して自己理解を安定させる過程。

五 「^⑤ぐずぐずする権利」とあるが、本文では、「対話の場の空間の設えや座席の並べ方」などの工夫と関係付けられている。「^⑥ぐずぐずする権利」と対話の場との関係を、本文の内容を踏まえて七十以上八十以内で記せ。

六 本文では、対話の重要性が述べられているが、これまでの経験等を踏まえ、国語科の授業で対話活動を取り入れる際の課題とその改善策を具体的に記せ。なお、解答は箇条書きでも構わない。

三

次の文章を読んで、一～五の問いに答えよ。（*は注を表す。）

六十一段

*亭子の院に御息所^{みよしよ}たちあまた 御曹司^{みゐらうし}してすみ給ふに、としごろありて、河原の院のいとおもしろくつくられたり^①けるに、京極の御息所^{みよしよ}ひとところの御曹司^{みゐらうし}をのみしてわたらせ給ひにけり。春のことなりけり。とまり^②給へる御曹司ども、いとおもひのほかにさうざうしきことをおもほしけり。殿上人^Aなど かよひ参りて、「藤の花のいとおもしろきを、これかれさかりをだに^B 御らんぜで」などいひて^C 見ありくに、文をなむ結びつけたりける。あけてみれば、

③ 世の中のおさき瀬にのみなりゆけばきのふのふぢの花とこそ見れ
とありければ、人々かぎりなく^D めであはれがりけれど、誰が御曹司のしたまへるともえ知らざりけり。男どものいひける、
ふぢのはな色のあさくもみゆるかなうつろひにけるなごりなるべし

*亭子：宇多上皇のこと。

*御息所：天皇の休息所。転じて、宮女の称。

*御曹司：ここでは、宮女が暮らす部屋のこと。

『大和物語』（日本古典文学大系）より（作問の関係上、一部表記等を改めた。）

一 「^a御曹司」、「^b給へる」を音読する場合、その読み方をすべてひらがなで答えよ。

二 「^①ける」の品詞・活用形を記せ。

三 「^②いとおもひのほかにさうざうしきことをおもほしけり」を現代語訳せよ。

四 文中の——線部A～Dについて、主語が他と異なるものが一つある。その記号を記せ。

五 「^③世の中のおさき瀬にのみなりゆけばきのふのふぢの花とこそ見れ」の表現の工夫について説明した、次の文の（E）、（F）、（G）、（H）にあてはまる言葉を記せ。

古今集にある、「世の中は何か常なる飛鳥川きのふの淵ぞけふは瀬になる」という和歌では、無常の例に飛鳥川の淵・瀬がたとえられている。また、③の和歌にある「世」とは、ここでは男女の仲の意味である。つまり、上皇の寵愛が浅くなったことを「（E）」にたとえており、また、「（F）」と「（G）」を掛けて、上皇の寵愛が（H）」ことを表現している。